
前田の風来坊の兄

怒レイン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

前田の風来坊の兄

【Nコード】

N4815Z

【作者名】

怒レイン

【あらすじ】

事故にあいそうになった子供を助け、慶次の兄として新たな人生が幕を開ける

プロローグ(前書き)

プロローグです

プロローグ

『プロローグ』

どこだ此処？確か小さい子供が道路に飛び出して・・・死んだはずだよな？

「オギャアアアアア！？（なんで赤ちゃんになって居るんだあああああ！？）」

その後、母親が来て無理やり乳を吸わされた

それから、五年が経ち五歳になった。

その間の事は聞かないでくれ。・・・我が生涯一生の屈辱だ。

「にいさくん！遊びに行こう」

俺に喋り掛けたのは俺の弟の慶次だ。言っただけだったがウチは前田家だ。そして俺の名前は連夜だ

連夜「わかった。ちっと待っていてくれ」

遊び（色んな所をからかい）に行く準備をして外に出た。

「待っておつたぞ。慶次、連夜」

連夜「悪いな秀吉」

秀吉「別に大丈夫だ」

慶次が遅れると怒るけど俺と一緒にだと怒らないんだよな

連夜「ところで何して遊ぶんだ？」

秀吉「我也分からぬ。慶次に呼ばれたからな」

もしかして、無計画？

慶次「いま酷い事考えたでしょ兄さん」

連夜「で、何して遊ぶんだ？」

慶次の事は無視して秀吉にもう一度聞く

秀吉「ならば稽古をつけてくれぬか？」

連夜「いいぜ。秀吉は俺と同じ拳が武器だからな。慶次は島津のおつさんに教えてもらえ」

その後は、秀吉と稽古をして、最後は慶次と模擬戦させた

そんな、楽しい時はあつという間に過ぎ時は、戦国時代となる

プロローグ（後書き）

双子の兄なので慶次と瓜二つです。

対織田連合

連夜「対織田連合ね」

利家「そうだ。虎の姫と慶次が諸国に周っているそうだ。」

まつ「私たちは信長様に剣を向けませんが」

そりゃあ、当たり前だよな

連夜「俺も面倒くさいからやらな!？」

急に寒くなった。誰かに狙われているのか？

利家「どうした連夜？」

連夜「何でも無い。あとで、奥州に行ってくる。」

まつ「気をつけてね」

連夜「ああ。トシもまつ姉も仲良くな」

その後、前田家を出て奥州に行くつもりだったが、変な格好をしている奴の後ろをつけてった。

連夜「きしよいな。おっさんの顔がデカデカとあると」

中に入ったはいいが、中はドンパチしている音と、ザビザビと言う音で煩かった。

「貴方もザビー教に入会しませんか？」

連夜「うざい」

バキツと勸入してきた奴を殴ったら他の奴らが襲って来たので

連夜「風烈！ハアアアアアアアッ！！！」

風の気を河童みたいな頭の奴らに放った

ドカアアアアアン！！！！！！

「「「ギイイヤアアアアア！！？」」「」

うーん。殴っても飛ばしてもわいてくるな。

連夜「気のせいか？元親の部下が居た気がするんだが。ん？あの後
る姿は慶次か！？」

そう思つて慶次の所に行く

連夜「おーい、慶次〜！！」

慶次「兄貴っ！？」

慶次のそばまで来た波いいが、女の比率高くないか？

「久しぶりだな連夜」

連夜「久しぶりだなさやか。いや、今は三代目か？それと、奈緒も元気そうだな。」

奈緒「連夜も元気そうで良かった」

連夜「お互い様だがな。他の人は初めましてか？前田慶次の兄の前田連夜だ、よろしくな」

とりあえず自己紹介をした

「丁寧にありがとう。私は真田小雪よ、よろしくね」

真田ねえ。茶色い髪で腰まであり、日の本一の美貌で双剣がある

連夜「アンタが虎の姫かい？」

小雪「ええ。そう呼ばれているわ」

連夜「ところで虎の姫は何故ここに？」

小雪「それを言うなら貴方は何故？」

虎の姫に聞いたならそう返ってきたので

連夜「ヒマつぶしと・・・トシの領内でコイツらを見つけたから」

て言うかさ

連夜「いい加減にコイツらザビザビ嫌いからまとめて消す」

慶次「までまで！この先に千早ちゃんが居るんだよ！？」

連夜「そうなのか？」

慶次が煩いから聞いた

小雪「そういえば・・・そうだったわね」

孫一「・・・すっかり忘れてたな」

奈緒「・・・私も忘れてました」

何か可哀想だな

連夜「とりあえずハゲにしか当てないから大丈夫だ」

そう言つて敵のど真ん中に立つ

連夜「ハアアアアアアアツ！！葵の極み！！」

ズドオオオオオオン！！！！

ギイイヤアアアアアアと言う叫び声を上げて敵は倒れ、ザビーの所まで行つたが元親が来てあっさりと事は終わった。

対織田連合（後書き）

簡単にですがオリキャラ紹介

『名前』

・真田小雪

虎の姫と言われている、年齢は連夜と同じで日の本一の美貌を持つと言われている。胸にコンプレックスを抱いている。慶次を好んでいる。

武器は双剣。

・猿飛千早

猿飛佐助の妹で胸がデカく小雪に敵視されている。本人は幸村love

・長宗我部奈緒

元親の妹とは思えないくらい正反対な兄妹。だがたまにやっぱり兄妹？と言う一面もある

奥州へ

ザビー教を撃破した後、小雪達は甲斐に戻るらしいのでついて行った。

連夜「慶次、あとでトシ達に顔を見せに行った方がいいぞ。慶次が顔を見せに来ないってまつ姉さんが言ってたぞ」

慶次「げっ・・・あとで顔を出しに行こ。」

小雪「連夜はどこまでついて来るのかしら？」

最初はある所に行くつもりは無かったからな

連夜「俺は奥州に居る嫁の所に戻るつもりだ」

千早「連夜さん、ご結婚なされてたのですか!？」

慶次「俺も初耳だよ!？」

小雪「奥州・・・伊達美知瑠の事？」

初めて話すからな。それと千早ちゃんは驚きすぎ

慶次「伊達美知瑠っていやあ、奥州の花と言われてる姫かい!？兄貴もやるね〜！」

連夜「正確にはまだだがな。今から返事しに行くんだ」

千早「求婚されたのですか!？」

連夜「ああ。政宗と遊んでいる時にな。遊んだ後に帰り道で綺麗な花を拾って美知瑠にあげたら、結婚してくださいってな」

本当に今でも不思議だがな

慶次「そりゃあ、落ちるよ。拳王で通っている人間がそんな事したら」

小雪「無自覚で落としたって所は怖いわね」

千早「皆さん、そろそろ川中島につきますよ」

川中島についたはいいが、何故か政宗が赤い奴と戦っていた。

連夜「ついたはいいが、二人が何かあつちでブツブツ言ってるが良いのか慶次？」

千早ちゃんと小雪ちゃんが現実逃避しているけど

慶次「いーの、いーの、何時もの事だから」

連夜「それはそれで大丈夫なのか・・・？」

小雪サイド

皆さんこんにちは。『虎の姫』こと真田小雪です。

千早「いきなり何を言っているのですか小雪様?・・・どこかに頭を

ぶつけましたか？」

失礼ね

私「安心しなさい。何処にもぶつけてないわ。猿飛千早」

千早「紹介していただいて、ありがとうございます。」

前回の話には名前が出ただけだから嬉しそうね

小雪サイドアウト

連夜「慶次、まだ現実逃避をしてるぞ？」

慶次「そろそろ止めた方が良さそう」「誰がまな板胸よ!?!」
「……だね……?」

千早「本当の事じゃないですか!?!」

なんか、いきなり喧嘩をし始めたんだけど

連夜「慶次止めて?下にバレル」

慶次「了解!小雪ちゃんも千早ちゃんも喧嘩はよしなよ?」

小雪「慶次は黙ってて」

千早「黙っててください!脳内春男さん!?!」

慶次「千早ちゃん!そんな言い方はないだろ!?!」

慶次に止めに行かせたのに一緒になってギャアギャア騒いでどうする

「おい、てめえら。そこで何してやがる？」

あつ、．．小十郎にバレた。しかも三人とも気づいてねえ。政宗と真田の家紋つけてる奴も戦い止めてるし．．はあく、仕方ないか出るか

連夜「悪いな勝負に水を差しちまって。」

政宗「連夜か!?!」

小十郎「連夜!?!」

政宗達はビククリしているな。

連夜「真田のと、猿飛のお前らの姉と妹をどうにかしろ!?!」

幸村「姉上っ!?!」

佐助「小雪様に千早っ!?!」

とりあえず、戦いの邪魔をした奴らを押し付けた。慶次？慶次なら

慶次「．．．．．」

気絶させましたが何か？

連夜「慶次は小雪に任せるわ。奥州に行くのに邪魔だし」

小雪「えっ？えっ？」

連夜「積もる話もあるかもしれないけど、奥州に帰ろっぜ政宗」

政宗「ああ。話はそれからだな」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4815z/>

前田の風来坊の兄

2011年12月18日09時54分発行